

ワークショップ 3.21

～ご近所映画祭～ その1 ワークショップ “3時間で映画を作る”

[トップ](#) >> [イベント](#) >> “3時間で映画を作る”



※定員に達したため、参加申込はぴ切りました。ご了承ください。なお、上映会は参加申込不要です。

[[映像作家ミシェル・ゴンドリー氏設計によるプログラム]]

このワークショップでは参加者が「企画し」「計画をたて」「撮影をする」の3段階を相談しながら3時間で映画をつくります。

専門的な知識や技術がなくてもOK。参加者で話し合ってチームワークよくつくり上げてください。

ムービーカメラを文房具のように手軽に扱いながら、作品を作り出す喜びを、みんなで味わってみませんか？

●ワークショップで作った映画は、同日午後3時～開催の上映会で上映します！

[～ご近所映画祭～その2”ご近所映画を観る”](#)

開催概要

日 時：平成27年3月21日(土) 午前10時～午後2時 ※**昼食は各自ご用意ください。**

参加対象：10歳以上の児童から大人まで。1人でも友達や家族やご近所同士での参加も可能です。

定 員：30名程度（要事前申込）

会 場：大阪府立江之子島文化芸術創造センター 1階/ルーム4

参加無料

持 ち 物：映画に使えるようなモノ、服、小道具など各自、自由に持参ください。ただし話し合いで物語を決めてゆくため使用しない場合もあります。

撮影機材はすべて主催者で準備します。

指導・進行：NPO remo [記録と表現とメディアのための組織]

問い合わせ・申込先：お名前（参加者全員）、年齢、日中連絡のつく電話番号を書いて、メールまたはFAXにて「映画ワークショップ申込」係まで。

FAXの場合は返信用 FAX番号も記入してください。

メール：art@enokojima-art.jp / FAX：06-6441-8151

※**個人情報**は目的以外には使用しません。

※**定員に達し次第、受付終了**します。

■ワークショッププログラム「ご近所映画クラブ」とは

フランスの映像作家、ミシェル・ゴンドリー氏が開発した「映像ワークショップ」を元に構成されているワークショップ。一般的に多額の制作費や広い人脈、映画市場によって成り立つというイメージのある「映画」。しかし、このワークショップでは、ごく少数のメンバーが手作りで、わずかな時間で1本の映画を作ることとなる。このことによって、映画作品の送り手（作り手）となり、小さいコミュニティで楽しむという映像メディアのDIYを体験することとなる。ワークショップは基本的に、順撮り（コマの順番を変更する編集をしない）、一発勝負(リテイクなし)で撮影していく。失敗できない&シナリオに沿って勢よく撮影していくことから、表情豊かな映画が完成する。NPO remoではゴンドリー氏の公認を受け、2009年より実施している。

□NPO remo[記録と表現とメディアのための組織]

メディアを通じて「知る」「表現する」「話し合う」、3つの視点で活動する非営利組織。2002年大阪市内にて設立以来、メディア・アートなどの表現活動を促すほか、文房具としての映像の普及、映像を囲む新しい場づくりなどを精力的に展開している。

「ご近所映画クラブ」は2011年以降京阪神の小中学校で行なっているほか、「瀬戸内国際芸術祭」(2013年)や「みんなのフェスティバル2014」(神戸市)などでも実施している。

サイトポリシー・ プライバシーポリシー	> enocolについて	> お知らせ・プレスリリース	Like 97 ツイート ^
指定管理者	> 事業紹介	> メルマガ登録	
バナー広告募集	> フロアガイド	> ニュースレター	
	> レンタルスペース	> お問い合わせ > アクセス	